

教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況に係る点検・
評価に関する報告書

(令和5年度事業分)



令和6年8月

雲仙市教育委員会



雲仙市教育方針

雲仙市教育委員会は、広く市民の理解、協力、参画のもとに、「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進する。

このため、人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び、郷土を愛し、郷土の自然・歴史・文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

雲仙市教育努力目標

- ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進
- 豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校教育の実現
- 明るい社会をつくる人権・同和教育の推進
- 夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成
- 郷土の豊かさをはぐくむ芸術・文化の振興
- 健康で明るく、たくましい心とからだをはぐくむ生涯スポーツの振興
- 国際性豊かな人づくりの推進

雲仙市教育のキーワード

やさしさに満ちた教育【人・地域・環境】

目 次

1. はじめに	……………	P 1
2. 雲仙市教育委員会の活動状況	……………	P 2～6
(1) 教育委員会の構成		
(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告		
①教育委員会開催		
②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問		
③その他の活動		
3. 雲仙市教育振興基本計画主要施策体系図	…	P 7
4. 点検及び評価の概要	……………	P 8
(1) 点検及び評価の対象		
(2) 点検・評価方法		
5. 「重点目標」の評価結果	……………	P 8
6. 主要施策に係る点検評価シート		
重点目標1 子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。		
	……………	P 9～16
(1)-① 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育活動の充実		
(1)-②、(3)-① コミュニティ・スクール導入による教育活動充実		
(1)-③ 教職員研修充実と働き方改革推進		
(2)-① 安全安心で快適な学習環境づくり		
(2)-② 時代に即した情報教育環境の整備		
(3)-② 教育相談、不登校児童生徒支援充実		
(3)-③ いじめ対策の充実		
(3)-④ 各種就学支援事業の実施		

重点目標2 生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。

…………… P17～22

- (1)-① 多様な生涯学習プログラムの実施
- (1)-② 市民のニーズに応じた図書館・図書室運営の充実
- (1)-③ 各種文化団体の活動支援
- (2)-① 地域に根差した青少年の健全育成の推進
- (2)-② 一人一人が認めあう人権意識の啓発
- (3)-① 学びの場としての社会教育施設の適正な管理運営

重点目標3 歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。

…………… P23～26

- (1)-① 郷土の歴史・文化の継承
- (1)-② 伝統的建造物群保存地区事業の推進
- (1)-③ 開発事業に伴う埋蔵文化財の適切な保存活用
- (2)-① 市民団体と連携した文化芸術活動の推進

重点目標4 運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

…………… P27～30

- (1)-① 運動・スポーツの日常化の推進
- (1)-② スポーツ競技力向上とジュニアスポーツの推進
- (2)-① 社会体育施設の整備と民間活力の導入
- (2)-② 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

7. 学識経験者の所見

…………… P31～37

1. はじめに

雲仙市教育委員会では、市の教育方針である「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進するため、雲仙市教育方針や努力目標を掲げ、様々な取組を進めてまいりました。さらに平成28年4月に雲仙市教育振興基本計画、令和3年4月には第2期雲仙市教育振興基本計画を策定し、この計画を教育行政推進の基本と位置づけ、その目標達成に向け様々な施策を展開しているところです。

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されたことに伴い、同法第26条第1項の規定に基づき平成19年度事業分から点検・評価を行うよう義務付けられたことから、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、平成28年度分からは雲仙市教育振興基本計画における主要施策の進捗状況を対象として点検・評価を行い、併せて教育委員会の活動状況を報告書に記載し、雲仙市議会に提出するとともに市民の皆様に公表しています。

また、同法第26条第2項に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、学識経験者として元雲仙市立南串第二小学校長 岩永敏幸 氏に所見をいただいております。

雲仙市教育委員会では、今回の点検・評価及び学識経験者の所見を基に教育委員会の活性化及び事務事業の推進など教育行政の担い手としての役割を発揮し、更なる教育の充実に努めてまいります。

令和6年8月23日

雲仙市教育委員会

2. 雲仙市教育委員会の活動状況

雲仙市教育委員会の会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催し、施策や事業の効果的・効率的な実施や緊急な課題への適切な対応を図るための協議等を重ねています。

定例会以外では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、総合教育会議（年2回）において教育行政の現状と課題などについて市長との協議を行いました。また、その他の活動にも積極的に参加するなど、教育行政の中心的な役割を担い、教育施策の推進を図りました。

(1) 教育委員会の構成（令和6年4月1日現在）

区別	氏名	年齢	任期	
			任命年月日	満了年月日
教育長	大津 善信	61	令和 5年 3月 1日	令和8年 2月 28日
教育委員 (教育長職務代理者)	駒田 義弘	68	令和 2年 12月 2日	令和6年 12月 1日
教育委員	永岡 悦子	63	令和 3年 12月 2日	令和7年 12月 1日
教育委員	江川 儀平	67	令和 4年 12月 2日	令和8年 12月 1日
教育委員	進藤 梓	41	令和 5年 12月 2日	令和9年 12月 1日

(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告

①教育委員会開催

令和5年度は、定例会を12回、臨時会を1回開催し、教育長に委任された教育に関する事務の執行の状況を確認するとともに議案30件、報告事項10件について審議等を行いました。

会議名 (開催日)	種別	主な審議事項
第1回 定例会 (4月25日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
	報告	雲仙市図書館協議会委員の委嘱について
	報告	雲仙市スポーツ推進委員の委嘱について
	報告	雲仙市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第1回 定例会 (4月25日)	議案	雲仙市中学校体育連盟運営費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
	議案	雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
第2回 定例会 (5月25日)	報告	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (動産の買入れについて)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和5年度一般会計補正予算(第3号)案について)
	議案	雲仙市学校給食運営審議会委員の委嘱について
第3回 定例会 (6月29日)	議案	公共施設使用料還付基準等の統一のための生涯学習課関係規則の整理に関する規則について
	議案	公共施設使用料還付基準等の統一のためのスポーツ振興課関係規則の整理に関する規則について
第4回 定例会 (7月26日)	報告	雲仙市スポーツ大会出場激励費交付基準の一部を改正する基準について
	議案	令和4年度事業分に係る「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書」の作成について
	議案	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について
	議案	雲仙市中学校体育連盟運営費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
第5回 定例会 (8月29日)	報告	雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
第6回 定例会 (9月28日)	議案	教職員の指導措置について
第7回 定例会 (10月26日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和5年度一般会計補正予算(第7号)案について)
	議案	雲仙市立岩戸小学校統合検討委員会委員の委嘱について
第8回 定例会 (11月29日)	報告	雲仙市立小・中学校体育施設開放の管理利用に関する規則の一部を改正する規則について
第1回 臨時会 (12月4日)	報告	雲仙市教育委員会の構成について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第9回 定例会 (12月26日)	—	議事事項なし
第10回 定例会 (1月31日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和5年度一般会計補正予算(第11号)案について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計当初予算案について)
第11回 定例会 (2月20日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計当初予算案について)
	議案	令和6年度雲仙市立小・中学校教職員人事異動の内申について
第12回 定例会 (3月26日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
	議案	雲仙市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について
	議案	雲仙市立中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について
	議案	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	議案	雲仙市社会教育委員の委嘱について
	議案	雲仙市公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市文化会館運営審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	議案	雲仙市スポーツ推進委員の委嘱について
議案	雲仙市立岩戸小学校の統合に係る方針について	

②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問

教育長及び教育委員は、市立小・中学校の学校経営及び学校施設等の整備状況を把握することで、学校教育への理解を深め、学校教育の振興を図ることを目的に、教育長及び教育委員による学校訪問を毎年行い、それぞれの学校の日々の取り組みや施設の状況を確認しています。また令和元年度からは、併せて社会教育施設等の視察も行っています。

令和2年度及び令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため社会教育施設等の視察も含めすべて中止といたしました。令和4年度からは、小・中学校への学校訪問を再開し、令和5年度は小・中学校への訪問と雲仙市図書館の視察を行っています。

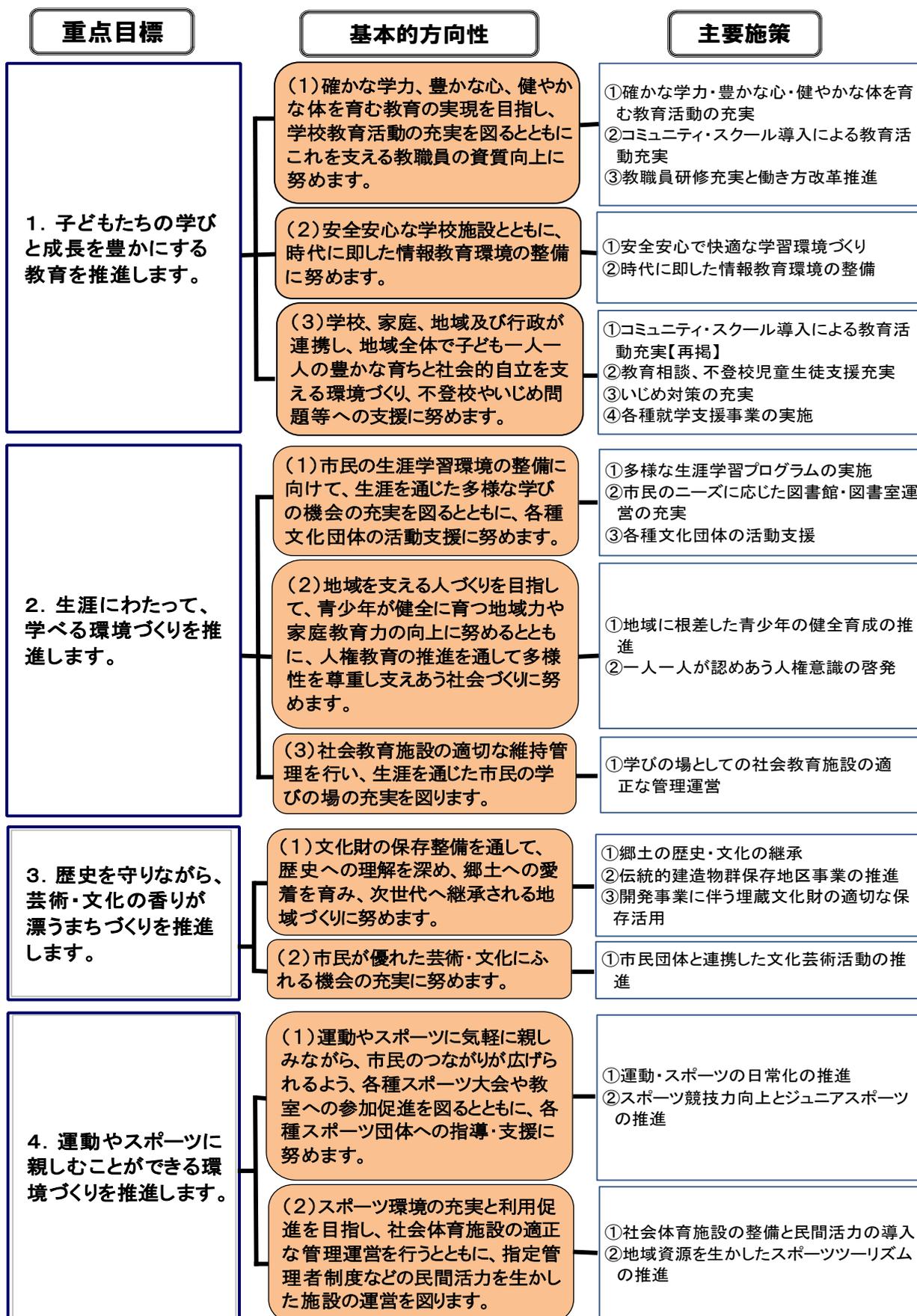
期 日	訪 問 校 等	内 容
令和5年 6月28日	吾妻中学校	学校経営概況説明等
令和5年 6月29日	雲仙市図書館	施設視察
令和5年 9月15日	南串第二小学校	学校経営概況説明等
令和5年10月 2日 ～30日	神代小学校ほか13校	学校経営概況説明等
令和5年10月13日	土黒小学校	学校経営概況説明等
令和5年11月10日	川床小学校	学校経営概況説明等

③その他の活動

期 日	活動内容	備 考
令和5年 4月 4日	新規採用・転入教職員（管理職）辞令交付式	
令和5年 4月11日	市内小学校入学式（午前）	出席見送り
	市内中学校入学式（午後）	出席見送り
令和5年 4月19日	長崎縣市町村教育委員会連絡協議会理事会	佐世保市
令和5年 5月29日	長崎縣市町村教育委員会連絡協議会総会及び合同研修会	佐世保市
令和5年 6月10日 ～11日	雲仙市中学校総合体育大会 球技・武道大会	
令和5年 6月20日	雲仙市中学校総合体育大会 陸上競技大会	長崎県立総合運動公園

期 日	活動内容	備 考
令和5年 8月 1日	総合教育会議 議題「市民のニーズに応じた 図書館・図書室運営の充実に ついて」	「地方教育行政の組織及 び運営に関する法律」に基 づく市長との協議
令和5年 8月 3日 ～ 4日	第14回九州地区市町村教育 委員会研修大会	佐賀市
令和5年10月 3日	雲仙市中学校総合体育大会 駅伝大会	長崎県立総合運動公園
令和5年10月15日	第7回雲仙市民運動会	愛野運動公園グラウンド
令和5年10月28日	長崎県民体育大会雲仙市結団 壮行式	大会は11月11日、12 日開催
令和5年11月 9日	長崎県中学校総合体育大会 駅伝大会	長崎県立総合運動公園
令和5年11月16日	長崎縣市町村新任教育委員研 修会	佐世保市
令和5年11月17日	長崎縣市町村教育委員会研究 大会	佐世保市
令和5年11月22日	雲仙市指定研究発表会 (千々石第一小学校)	
令和5年12月 2日	第18回雲仙市少年の主張大 会	審査員長、審査員
令和5年12月16日	雲仙市中学生英語スピーチコ ンテスト	
令和6年 1月 4日	雲仙市二十歳のつどい	3会場分散開催
令和6年 1月 5日	雲仙市消防出初式	
令和6年 2月 8日	雲仙市文化連盟 市展	国見町文化会館
令和6年 2月 9日	総合教育会議 議題「次期教育大綱の策定に ついて」	「地方教育行政の組織及 び運営に関する法律」に基 づく市長との協議
令和6年 3月14日	市内中学校卒業式	
令和6年 3月19日	市内小学校卒業式	
令和6年 3月29日	教職員退職者辞令交付式	

3. 雲仙市教育振興基本計画 主要施策体系図



4. 点検及び評価の概要

(1) 点検及び評価の対象

令和3年に策定した「第2期雲仙市教育振興基本計画」の基本方針に基づく個々の主要施策(Plan)を点検の対象とし、その取組状況(Do)を評価検証する(Check)とともに、その事業達成に向け課題を明確化することにより、次年度以降の取組の方向性を示す(Action)、PDCA サイクルによる事務事業の点検及び評価を行います。

(2) 点検・評価方法

事務の点検及び評価については、各主要施策の取組や達成状況を踏まえ、進捗状況の自己評価を5段階（Aを5点～Eを1点）で示し、それを平均したものを「重点目標」の進捗状況として評価を行います。

「施策の方針」の評価区分	ランクの数値	主要施策ランク	
計画を上回って進捗	4.6以上	A	5
計画どおり進捗	3.6～4.6未満	B	4
一部課題はあるが概ね計画どおり進捗	2.6～3.6未満	C	3
計画が、全体的に遅れがある	1.6～2.6未満	D	2
計画の多くが未達成又は見直しが必要	1.6未満	E	1

※「施策の方針」の評価＝主要施策ごとの点検シートのランクの数値合計÷主要施策数

5. 「重点目標」の評価結果

雲仙市教育振興基本計画における22の主要施策の自己評価は、Aランクが4施策、Bランクが7施策、Cランクが11施策、Dランクが0施策、Eランクが0施策で、昨年度と比べAランクが大幅に増えました。

また、各主要施策の取組や達成状況の自己評価を踏まえた、「重点目標」の評価結果は、以下のとおりとなりました。

重点目標	評価結果	主要施策数
子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。	B（平均3.8点）	8施策
生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。	B（平均3.8点）	6施策
歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。	C（平均3.5点）	4施策
運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。	C（平均3.5点）	4施策

6. 主要施策に係る点検評価シート

重点目標1 子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。

点検評価シート

担当課 学校教育課

主要施策(1) - ①		確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む 教育活動の充実
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の知・徳・体の調和のとれたカリキュラム・マネジメントを充実させることにより、教育効果を高めます。 ■ 県学力調査 小学校(R2) 県比 1.1~2.7 → (R7) 県平均以上を維持 中学校(R2) 県比 -4.6 ~ -0.1 → (R7) 県平均 ■ 学校運営調査(小学校英語) 肯定的回答(R2) 65.9% → (R7) 80% ■ 4年生以上でタブレットを用いた在宅学習ができる児童生徒の割合 (R2) 0% → (R7) 95% 	
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県学力調査 小学校(R5) 県比 -2.1 ~ 4.3 中学校(R5) 県比 -4.0 ~ 1.1 ■ 学校運営調査(小学校英語) 肯定的回答 91.5% ■ 4年生以上でタブレットを用いた在宅学習ができる児童生徒の割合 100% ○ 各種学力調査を実施し、結果分析を授業改善につなげることとしている。 ○ 学校運営調査実施時に、「雲仙市追加調査」として「外国語活動・英語について」の調査を実施(小学校3年~6年を対象) <ul style="list-style-type: none"> ・質問「あなたは、先生や友達と英語でやり取りすることが楽しいですか」について回答 ○ タブレットの持ち帰りや在宅学習について、管理職研修や研究発表の指導助言等で繰り返し奨励した。 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では、国語が4ポイント、算数も2ポイント県平均を上回った。理科においては県平均を約2ポイント下回った。 ○ 中学校では、数学において県平均を上回ったが、国語においては4ポイント下回った。 ○ 英語学習に対する肯定的回答の割合が全ての学年において昨年度より上回った。 ○ 小学校全学年の1週間の在宅学習の平均回数は、1.4回となり、前年度の0.9回から増加した。 ○ 中学校においては、1週間の在宅学習の平均回数が1.7回となり、前年度の0.6回から大きく増加している。 	
自己評価	C	A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画に全体的な遅れがある E: 計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力調査を軸としたマネジメントサイクルが確立されるよう、校長研修会、教頭研修会等において指導を行っていく。 ○ 授業と家庭学習の「つなぎ」として、タブレット端末を活用するよう、先進校の取組や実践例を発信していく。 	

主要施策 (1) - ② (3) - ①		コミュニティ・スクール導入による教育活動充実	
主な達成目標	・コミュニティ・スクールの連携の核となる学校運営協議会の各校設置を推進します。 ■ 学校運営協議会設置校数 (R2) 1校 → (R7) 6校		
5年度の取組状況	■ 学校運営協議会設置校数 (R5) 6校 ○ 雲仙市コミュニティ・スクール導入年次計画に沿ったコミュニティ・スクールの導入推進 各小・中学校に、令和5年度に実施したコミュニティ・スクール導入の意向調査に基づき、各学校の意向を踏まえ、校長会等でコミュニティ・スクールについて説明するなどして導入を推進した。 ○ 令和6年度導入予定校への依頼及び説明 ・令和6年度 … 西郷小、南串中 で導入		
評価 及び 課題	○ コミュニティ・スクール導入に関する年次計画に基づき、令和7年度までに導入意向のある学校には、依頼及び説明を行い導入に向けた準備を進めている。 ○ 令和6年度 コミュニティ・スクール導入校 8校 (33.3%)		
評価 自己	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降 の 取 組 次 年 度 以 降	○ 令和7年度及び令和8年度の導入に向け、意向調査の結果を踏まえながら、未導入校への働きかけを行う。		

主要施策（１）－ ③		教職員研修充実と働き方改革推進		
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の統合型校務支援システムC4 t h活用能力を高め、時間外勤務を縮減します。 ■ 教職員の時間外勤務月平均45時間超え勤務者数 （R1）小学校32.6人・中学校56.8人→（R7）小・中学校0人 			
	5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職員の時間外勤務月平均45時間超え勤務者数 （R5）小学校5人・中学校31人 ○ 統合型校務支援システムの雲仙市運用ルールを令和3年度より適用開始 ・出退時刻管理、出席簿管理、成績管理、学校日誌・保健日誌作成等の機能活用による業務の効率化が各学校で進められた。 		
評価 及び 課題		<ul style="list-style-type: none"> ○ 統合型校務支援システムの本格運用に伴い、教育委員会への提出物削減につなげることができた。 ○ 時間外勤務縮減については、学校が行っている業務の見直し、年休取得の促進等を図り、効率的・効果的な教育活動を更に推進する必要がある。 ○ 教頭の超過勤務の割合が他の教職員の割合を大幅に上回っている。 ○ 中学校の部活動に関する業務が超過勤務の主な原因となっている。 		
	自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降 の 取 組	次 年 度 以 降	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度においてもシステム運用による効率化を更に進めていく。 ○ 時間外勤務縮減については、統合型校務支援システムによる客観的な勤務時間の把握を継続し、教職員の意識改革を更に進めていく。 		

主要施策（２）－ ①		安全安心で快適な学習環境づくり	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 各学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修に努めます。 快適な学習環境づくりのため、トイレの洋式化を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校のトイレ洋式化率（R2）33.7%→（R7）42.0% 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■学校のトイレ洋式化率 38.4%（令和5年度末現在） ○快適な学習環境づくり 安全で安心な教育環境を維持するために、施設の修繕及び改修工事等を行った。 【大規模改修事業】 <ul style="list-style-type: none"> 校舎屋上防水工事3件実施（多比良小学校、南串第一小学校、瑞穂中学校） 屋外階段・屋内運動場庇防水工事1件実施（川床小学校） 校舎屋上防水実施設計業務1件実施（小浜中学校） 【単独整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> 小学校施設単独整備事業（R5分100件：46,484千円） 中学校施設単独整備事業（繰越分 2件：14,974千円 R5分 56件：19,954千円） ○学校の教育環境改善及び防災機能強化 防災機能の強化と安全安心な教育環境を整備するために、校舎外壁の改修工事、設計業務を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 吾妻中学校校舎外壁改修工事（繰越分 106,107千円） 小浜小学校屋内運動場外壁改修工事（10,336千円） 南串第一小学校校舎外壁改修工事、瑞穂中学校校舎外壁等改修工事 令和6年度へ繰越 		
及び課題 評価検証	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のトイレの洋式化については、毎年各校2～3基程度の取替えを行っており、今後も目標達成に向けて洋式化にかかる予算を確保したい。 ○ 防災機能強化については、国の学校施設環境改善交付金の採択を受け、小浜小学校の工事を計画通りに完了した。また、令和6年度に工事を計画していた南串第一小学校及び瑞穂中学校を同交付金の前倒し申請を行い工事に着手した。 ○ 建築から40年を超える学校施設が多いことから、今後も施設の安全性などを維持していくために、屋上防水や外壁、給水管などの改修を行う。 		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組 年度以	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「快適な学習環境づくり」については、引き続き屋上防水改修工事等の大規模改修工事と単独整備事業を進め、教育環境の改善に努める。 ○ 「学校の防災機能強化」については、国庫補助及び起債の活用など財源を確保しながら外壁改修工事等に引き続き取り組んでいく。 		

主要施策（２）－ ②		時代に即した情報教育環境の整備	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信機器及びデジタル教材の計画的な更新及び充実と合わせ、通信環境の整備を行います。 ・すべての教職員がICT機器を活用した授業に積極的に取り組めるよう研修を進め、ICT機器を用いた授業の円滑な実施を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 授業中にICTを活用し指導できる教職員の割合 (R1) 75.3%→(R7) 95% ・児童生徒の情報活用能力を向上させる授業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ インターネットを使って情報を活用することができる児童生徒の割合 「学校運営調査」小学5年生～中学3年生 (R1) 69.5%→(R7) 90% 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業中にICTを活用し指導できる教職員の割合 (R5) 81.6% ■ インターネットを使って情報を活用することができる児童生徒の割合 「学校運営調査」小学5年生～中学3年生 (R5) 85.0% ○ 時代に即した情報教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27・28年度に導入した電子黒板の老朽化に伴い、新たに22台を更新し小学校5校及び中学校5校の学習環境を整備した。 ・パソコン教室で使用していた端末を再整備（リユース）し、不具合が多かった校務支援端末と交換・設置し環境改善を行った。 ○ ICT機器を活用した授業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用ポータルサイト(L-Gate)の活用推進のために、ポータルサイト内のコンテンツを充実させた。 ○ 情報モラルセミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校から担当者が参加する研修会を実施し、情報モラル教育の推進を図った。 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板等のICT機器については、平成26年度頃から急速に導入が進み、近年老朽化による故障が相次いでいる。 ○ オンライン学習の活用頻度の増加、コンテンツの充実によりインターネット通信の負荷が増加しており通信が不安定になってきている。 ○ 令和5年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、授業中にICTを活用し指導できる教職員（肯定的解答）は、授業を実施する全教職員（管理職を除く）の81.6%で、R4より3%上昇している。 ○ 情報活用に関する肯定的回答の割合が、5年生81.3%、6年生86.0%、中学1年生90.8%、中学2年生86.1%、中学3年生81.0%であった。中学校は、学校間の格差が見られた。 		
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化した電子黒板の更新を引き続き行うとともに、老朽化した校務用端末の更新にも着手する。 ○ 児童生徒が利用するインターネット環境の最適化。 ○ 市全体の情報教育に関する指導力向上を図るために、教職員のレベルに応じた研修が行えるようにする。 		

主要施策（3）－ ②		教育相談、不登校児童生徒支援充実
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校児童生徒一人一人の状況に応じて、学校復帰や将来の社会適応に向けた漏れのない支援を行います。 ■ 支援を要する不登校児童生徒への訪問指導等 （R1）100%→（R7）100%を維持 ■ 訪問指導員が関わるケース会議・ケア会議 （R1）15回→（R7）20回 	
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援を要する不登校児童生徒への訪問指導等 （R5）100% ■ 訪問指導員が関わるケース会議・ケア会議 （R5）16回 ○ 「雲仙市児童生徒サポートセンター事業」説明 ・ 年度当初に、市内全小・中学校を訪問し、事業の説明を行い、訪問指導員の活動内容について周知した。 ○ 支援要請があった児童生徒への対応 学校訪問 68回 家庭訪問 146回 個別指導 472回 電話相談 16回 来所相談 3回 ※全ての支援要請に対応（100%） 	
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての支援要請について、訪問指導員が対応することができた。 ○ ケース会議・ケア会議について、新規に対応を開始する場合や、学校や保護者と共通理解を図る必要がある場合など、状況に応じて実施することができた。 	
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に校長研修会・教頭研修会等において事業説明を行い、周知を図る。 ○ 出席状況が気になる児童生徒について学校と積極的に情報交換を行いながら、訪問指導員の支援が必要な児童生徒について対応する。 	

主要施策（3）－ ③		いじめ対策の充実						
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見・早期対応により、いじめの深刻化を防ぎます。 ■ いじめ認知から3か月後の解消率 (R1) 100% → (R7) 100%を維持 							
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ いじめ認知から3か月後の解消率 (R5) 99.1% ○ 毎学期末、「いじめの認知件数に関する調査」を実施 <ul style="list-style-type: none"> いじめの認知件数 257件 内、認知から3か月経過 228件 ※令和6年3月31日時点 <table border="1"> <tr> <td>①解消しているもの</td> <td>226件 (99.1%)</td> </tr> <tr> <td>②解消に向けて取組中</td> <td>2件 (3か月経過済)</td> </tr> <tr> <td>③解消に向けて取組中</td> <td>29件 (3か月未経過)</td> </tr> </table> ○ 市内全小・中学校において、「雲仙市いじめ防止アンケート」を6月または7月に実施した。 		①解消しているもの	226件 (99.1%)	②解消に向けて取組中	2件 (3か月経過済)	③解消に向けて取組中	29件 (3か月未経過)
①解消しているもの	226件 (99.1%)							
②解消に向けて取組中	2件 (3か月経過済)							
③解消に向けて取組中	29件 (3か月未経過)							
評価及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校においては、認知したいじめの全件について解消し、目標を達成している。 ○ 小学校において、いじめの認知から3か月経過後も解消に向けて取組中のものが2件ある。内容については軽微なものであるものの、児童の特性等もあり、解消には至っていない。 							
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要						
以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内全小・中学校において、「雲仙市いじめ防止アンケート」を6月または7月に実施し、早期発見・早期対応に有効に活用することで、いじめの深刻化を防ぐとともに、「いじめを許さない学校づくり」に資する。 ○ 毎学期末、「いじめの認知件数に関する調査」を実施し、いじめの発生状況を把握するとともに、早期解決に向けた対応について助言する。 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を含め、学校と連携し、早期解決に向けて支援していく。 							

主要施策（3）－ ④		各種就学支援事業の実施	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容に関する周知に努め、相談に親身に対応するとともに、保護者の困窮状況に早期に対応できるよう、申請から支給までの事務処理期間を短縮します。 ■ 随時申請にかかる申請受付から認定までの期間 (R1) 2週間→(R7) 10日間 		
	5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 随時申請にかかる申請受付から認定までの期間 (R5) 10日以内 ○ 経済的に困窮している家庭に確実かつ迅速に支援するために、広報や申請処理において学校や各総合支所、学校給食センター等と適切に連携するとともに、就学時健康診断や小・中学校入学説明会等の機会を利用して事業の周知に努めた。 ○ 申請後、速やかに個別認定を行い、受付から支給までの事務処理期間の短縮に努めた。 	
評価課題		○ 広報等を利用し周知に努めたが、申請忘れの保護者もあり、今後も学校等との連携を図り困窮状況に早期に対応できるように努める。	
	自己評価	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	○ 事業内容に関する周知に努め、相談に親身に対応するとともに、保護者の困窮状況に早期に対応できるよう、学校等と連携し事務処理に努める。		

重点目標2 生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。

点検評価シート

担当課 生涯学習課

主要施策(1) - ①		多様な生涯学習プログラムの実施
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題や市民ニーズに即した様々な講座を企画します。 ■ 参加者数 (R1) 4,051人 → (R7) 4,500人 ■ 講座満足度アンケート (R1) 77% → (R7) 90% 	
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者数 3,692人(延べ) ■ 講座満足度アンケート 99% ○ 市民講座の実施 全195講座 【対象別】 一般成人 90講座 …「自分磨きおうちでリンパマッサージ」ほか 小中学生 60講座 …「マスキングテープアート教室」ほか 幼児・親子 12講座 …「おもちゃドクターがやってくる」ほか 高齢者 11講座 …「心わくわく、懐かしの歌を歌おう」ほか 男性・その他 22講座 …「がっつりおいしい男料理」ほか ○ 広報活動 広報うんぜん、市ホームページ、自治会回覧「公民館だより」、無線放送、市公式インスタグラム、市公式LINE等 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズの把握と多様な講座の企画実施に努め、参加者の満足度も評価は高かった。新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和されたこともあり講座の実施回数は回復傾向にあった。市民の満足度の高い講座の提供に努めることができたが、幅の広い年齢層へ向けた講座の企画も必要である。 	
自己評価	C	A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画に全体的な遅れがある E: 計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化や家庭教育支援など、社会全体での取り組みが必要な地域課題に向き合うため、ネット配信による講座の企画を始め、公民館の「つどう・まなぶ・むすぶ」機能を十分に生かし、自治会や自治公民館と協力した地域課題解決型の講座を企画するなど、地域住民の主体的な学びの機会を提供していく。また、コロナ禍を経て、新たな生活、文化活動を市民へ提案できるよう講座の企画実施に努める。 	

主要施策（１）－ ②		市民のニーズに応じた図書館・図書室運営の充実	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館等の貸出利用サービス数の増加を図ります。 ■ 貸出冊数 (R1) 211,492冊 → (R7) 220,000冊 ■ 1人当たり貸出冊数 (R1) 4.8冊 → (R7) 5.5冊 		
5年度 の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貸出冊数 198,945冊 ■ 人口1人当たりの貸出冊数 4.4冊 ○ 図書館等（図書館1館、図書室6室）の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵書冊数（視聴覚資料含む） 229,592冊 ・ 利用者数 39,881人 ・ 図書購入冊数 9,248冊 ・ 移動図書館巡回箇所 58カ所 ○ 令和4年3月に策定した第2次雲仙市読書活動推進計画における基本目標を「読書活動を活性化するための関係者の連携強化と年齢に応じた読書活動の支援」とし、実現するための取り組みを今後5年間の計画期間において進めていく。 ○ 読書推進イベントを開催し、読書活動の推進に努めた。 ○ 図書システムの更新を実施。ホームページで登録するとスマートフォンで利用者カードが使用可能であり、館内検索システムで資料予約も可能。 		
及び 評価 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン等の普及により活字離れが進んでいることが推察される。蔵書の充実と情報発信に努め、各種企画を通じて読書に関する理解や関心を高めていく必要がある。 ○ コロナ禍にて大幅に減少した貸出冊数について、徐々に回復傾向にあるものの、目標冊数に至らず、今後も感染症対策に配慮した貸出対応が必要である。 		
評価 自己	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降 の 取 組 次 年 度 以 降	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応じた読書環境の整備に努める。 ○ 関係機関、図書ボランティア団体等と連携を深め地域ぐるみで読書活動を推進する体制づくりを進める。 ○ 市民が図書館、図書室を学びの場、自己研鑽の場として活用するために図書ボランティア、市民を対象とした研修会、イベント等を積極的に開催する。 		

主要施策（１）－ ③		各種文化団体の活動支援	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・雲仙市文化連盟を構成する各町文化協会及び雲仙市文化会館自主文化事業振興会を支援し、市民主体の文化活動の振興を図ります。 ■ 市内文化事業開催数 (R1) 15回→(R7) 16回 ■ 市内文化事業参加者数 (R1) 4,612人→(R7) 5,000人 		
5度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内文化事業開催数 16回 ■ 市内文化事業参加者数 6,859人 ○ 市民主体の文化活動 市民の活発な芸術文化活動を推進するため、雲仙市文化連盟が中心となり、雲仙市民芸術祭、雲仙市美術展覧会、各町文化祭を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・第17回雲仙市民芸術祭 12月10日(日)(国見町文化会館)275人 ・第18回雲仙市民美術展覧会 2月8日(木)～11日(日)(国見町文化会館)495人 ・各町文化祭 ○ 雲仙市文化会館自主文化事業振興会主催事業 市民のニーズにあった文化芸術鑑賞の機会を充実させるため、雲仙市文化会館自主文化事業振興会による自主文化事業を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・懐かしい日本の歌コンサート 7月30日(日)(吾妻町ふるさと会館)来場者242人 ・中本マリジャズライブ 8月6日(日)(国見町文化会館)来場者166人 ・宝くじ文化公演 北島兄弟コンサート 8月19日(土)(ハマユリックスホール)来場者657人 ・おどる♪ハロウィンパーティー 10月22日(日)(吾妻町ふるさと会館)来場者594人 ・長崎県警察音楽隊ふれあいコンサート 12月16日(土)(愛の夢未来センター)来場者366人 ・日本の芸能～鼓舞～ 1月14日(日)(ハマユリックスホール)来場者165人 ・長崎県オペラ協会公演 3月10日(日)(吾妻町ふるさと会館)来場者164人 		
及び評価課題	○ 雲仙市文化連盟の組織強化や会員相互の交流活性化を引き続き図っていく必要がある。地域課題解決につながる文化事業や組織の在り方について検討していきたい。		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主文化事業をはじめ、雲仙市文化連盟による市民芸術祭や市美術展覧会を開催する。 ○ 雲仙市文化連盟、雲仙市文化会館自主文化事業振興会の、自立した組織の在り方を検討する。 		

主要施策（２）－ ①		地域に根差した青少年の健全育成の推進
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「雲仙市家庭教育7か条」の認知度アップに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者認知度 (R2) 58.4%→(R7) 80% ・小中学校入学説明会等で、メディア安全指導の指導講習会を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ メディア安全指導開催数 (R1) 26回→(R7) 30回 	
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者認知度については令和6年度に調査を実施予定 ■ メディア安全指導開催数 32回 ○ 「雲仙市家庭教育7か条」「ココロねっこ運動」「家庭の日」の啓発、推進 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、大会での周知のほか、各町『公民館だより』による広報活動を行った。 ・家庭教育7か条のクリアファイルを新小学1年生児童の保護者へ配布し啓発活動を行った。 ○ メディア機器の安全使用に係る啓発 <ul style="list-style-type: none"> メディア機器利用にかかる事件事故、健康被害等を未然に防ぎ、メディアを安全快適に活用する社会を形成するため、メディア安全指導を実施した。 ・市立小中学校の新入学児童生徒保護者説明会時にメディア安全講話開催 ・PTAなどを対象としたメディア安全講演会の実施 ・PTAと協働したメディア安全啓発にかかる市統一ルールリーフレットの配布 	
及び評価検証課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の啓発、推進については、広報紙での周知の他、『公民館だより』に毎号掲載するなど周知に努めた。少年の主張大会は、中学生を出場対象とし実施した。家庭教育7か条啓発のためクリアファイルを新小学1年生へ配布した。 ○ メディア接触やメディア所持の低年齢化の現状を受け、子どもを取り巻くメディア環境への安全指導を実施した。今後は幼年期保護者も対象に広げ実施していく必要がある。 	
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「雲仙市家庭教育7か条」等の周知啓発を、「広報うんぜん」の「ぼかぼかフォトスナップ」連載等において取り組み、家庭及び地域の教育力を高める。 ○ 市PTA連合会と協力し、子どもたちのメディア機器へのかかわりに関する実態調査の結果を踏まえ、課題に即した啓発活動を行う。 	

主要施策（２）－ ②		一人一人が認めあう人権意識の啓発	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が関心を持てるような講演会の実施や人権映画の上映、人権意識啓発チラシの配布等を行い、人権について考える機会を設けます。 ■ 人権講演会開催学校数（～R2） 19校→（～R7） 24校 ■ 人権教育講座受講者数（R1） 27人→（R7） 50人 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権講演会開催学校数 （～R5） 23校 ■ 人権教育講座受講者数 48人 ○ 令和5年度雲仙市人権講演会「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」市内小学校において、4講演を実施した。（市主催県補助金活用事業）（対象者：各校児童生徒、教職員、保護者等） <ul style="list-style-type: none"> <開催校、参加者、開催日> 鶴田小学校 96名 令和5年12月 5日(火) 土黒小学校 158名 令和5年12月 6日(水) 南串第二小学校 96名 令和5年12月 8日(金) 瑞穂町内の小学生 18名 令和6年 3月23日(土) ○ 市民講座において、男女共同参画社会の実現を目指した講座に取り組んだ。 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権講演会では、講話、演奏、ワークショップを実施した。参加児童生徒からは、「いじめを受けることの辛い思いを知り、また、障がいがあってもいきいき生活し、活躍される様子から、夢を持ち努力することの大切さを感じている」などの感想が寄せられ、障がいがある方への理解が深まっていることが確認できた。 ○ 本市を拠点に活躍する知的障がいを持つ和太鼓集団「瑞宝太鼓」を講師とした講演会の実施により、参加者がより身近に障害のある方への理解を深め、それぞれの立場で一生懸命取り組むことの大切さを感じさせることができた。 ○ 市民が関心を持ちやすい内容やテーマを考慮し、人権意識の啓発に取り組む必要がある。 		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒を対象とした瑞宝太鼓夢大使講演会や市民講座における人権教育講座等を開催するほか、広報紙、ホームページ等で広く市民へ呼びかける。 ○ より多くの市民に人権意識の啓発を図ることを目的に、人権週間（12月）にあわせて広報紙に特集を組むなど人権教育事業を行う。 ○ 市民講座において、男女共同参画社会の実現を目指した講座に取り組む。 		

主要施策（3）－ ①		学びの場としての社会教育施設の適正な管理運営	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、計画的な改修等を行います。 ・ Wi-Fi 環境を整備し、リモート学習の場を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Wi-Fi 環境施設（R1）0施設→（R7）7施設 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ Wi-Fi 環境施設 7施設 ○施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国見町文化会館外壁・屋上防水改修工事 工期 7/11～1/26 ・ 国見町文化会館外壁・屋上防水改修工事監理業務 工期 6/30～2/14 ・ 国見町文化会館駐車場測量設計業務 工期 6/2～9/19 ・ 瑞穂町公民館第2駐車場測量設計業務 工期 6/1～9/28 		
評価検証及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所管する社会教育施設の老朽化に伴い、設備の大規模更新等を行った。所管する社会教育施設の老朽化が進み、大規模修繕が必要な個所が今後も想定されおり、中長期の計画的な整備を今後も図る必要がある。 ○ 個別施設計画に基づき、千々石町公民館の建て替えについて、今後早急に検討を進める必要がある。 		
自己評価	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 瑞穂町公民館第2駐車場整備工事 ○ 国見町文化会館駐車場整備工事 ○ 旧小浜文化館解体工事実施設計業務 ○ 吾妻町ふるさと会館照明設備改修工事実施設計業務 ○ 金浜眼鏡橋屋外トイレ改修工事実施設計業務 ○ ハマユリックスホール屋外トイレ設置工事実施設計業務 		

重点目標3 歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。

点検評価シート

担当課 生涯学習課

主要施策(1) - ①		郷土の歴史・文化の継承
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存と活用のため、貴重な資料の指定、登録を行います。 各種保存会との連携を図り、郷土芸能団体の継続的な活動を支援します。 郷土資料の調査整理を行うとともに、歴史講座の開催に努めます。 <p>■ 歴史講座数 (R1) 2回 → (R7) 5回</p>	
5年度の取組状況	<p>■ 歴史講座数 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財の検討や、他市町の先進事例を学ぶため、文化財保護審議会を1回開催した。 雲仙市内のハタ揚げ文化を保存継承していくため、愛のまち剣舞箏保存会及び雲仙市吾妻町はた保存会と連携し、ハタ揚げの実施や地元の小中学校への指導を行った。また、両団体へ年間の活動謝礼金を支払った。 <ul style="list-style-type: none"> 愛のまち剣舞箏保存会 50千円 雲仙市吾妻町はた保存会 50千円 郷土の歴史を学ぶため、市内で行われている発掘調査の成果を市民へ普及するため、市民講座を2回実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 考古学講座 2回 	
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議委員会を開催し、市内文化財の調査研究を行った。 郷土芸能については、ハタ文化のみ現在支援しており、その他郷土芸能について調査研究が必要である。 	
自己評価	C	<p>A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画に全体的な遅れがある E: 計画の多くが未達成又は見直しが必要</p>
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財の候補があり、指定に向けて文化財保護審議会と調査研究していく必要がある。 郷土芸能については、保存団体と連携し保存継承に努める。 歴史講座を開催し、市民に雲仙市の歴史や文化財の魅力の普及啓発を行う。 	

主要施策（１）－ ②		伝統的建造物群保存地区事業の推進
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修理修景事業を推進し、伝統的まちなみ景観の整備を図ります。 ・ 地元自治会や地元NPO法人等と連携し、まちなみを活用した地域活性化に取り組みます。 ・ 旧鍋島家住宅の保存修理を進め、地域の核となる建物として活用を図ります。 <p>■ 鍋島邸入館者数（R1）6,133人→（R7）8,000人</p>	
5年度の取組状況	<p>■ 鍋島邸入館者数 5,721人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 庭園の樹木の剪定等による管理、樹勢の衰えた樹木の回復措置を行い、庭園の適正な維持管理を行った。 ○ 地元団体と連携し、オカリナコンサート、まち歩きイベントを開催するとともに、民間団体が実施したイベントに協力した。 ○ 観光物産課と連携し、長崎日大高等学校のデザイン美術部の伝建地区におけるアート展や、滞在時間延長に向けたガイドツアーや陶芸体験のプログラムの造成を行った。 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝建事業については、文化庁及び県学芸文化課の指導を受けながら、補助事業を活用した修理修景事業を実施することができた。 ○ 旧鍋島家住宅の老朽化が進行しており、今後、全体的な修理を行う必要がある。 ○ 新型コロナウイルスの影響の薄れ「緋寒桜の郷まつり」を開催するなど、少しずつ地域の活性化に向け、取り組んでいる。 <p>また、鍋島邸の入館者は戻りつつあるものの、コロナ前のような団体旅行から個人型旅行にシフトしており、入館者だけを追い求めるのではなく、滞在時間延長に向けた取り組みに注力する必要があると考える。</p>	
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要</p>
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、国、県の補助金を活用した修理修景事業を実施する。 ○ 旧鍋島家住宅の修理に向けた協議を行う。 ○ 地元団体と連携したイベントを開催する。 ○ 観光物産課や自治会と連携し、より良い伝建地区の活性化に向け定期的に協議を行う。 	

主要施策（１）－ ③		開発事業に伴う埋蔵文化財の適切な保存活用	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各種開発事業に伴う発掘調査事業を実施します。 ・雲仙市歴史資料館における発掘調査成果の公開と活用を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 国見展示館入館者数（R1）1,018人→（R7）1,500人 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国見展示館入館者数 R5実績2,393人 ○ 国見地区基盤整備事業に伴う内屋敷遺跡の発掘調査（1,150㎡） 基盤整備事業に伴う工事により遺跡の消滅する部分の発掘調査を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代の土器石器が発見された。また、中世の墓が100基以上発見され、県内最大の規模と判明した。 ○ 吾妻地区基盤整備事業に伴う発掘調査（出土品整理作業） 基盤整備事業に伴う発掘調査による出土品の整理作業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、古墳時代の勾玉や鉄製品、祭祀用の土器などが発見されている。 ○ 愛野地区基盤整備事業に伴う発掘調査（報告書作業） 基盤整備事業に伴う発掘調査報告書の作成を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、旧石器時代の石器や弥生時代の環濠集落が発見されている。 ○ 南串山地区基盤整備事業に伴う登建峠遺跡発掘調査（出土品整理作業） 基盤整備事業に伴う発掘調査による出土品の整理作業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、縄文時代晩期の土器、石器が数多く発見された。 ○ 市内遺跡発掘調査 市内の各種開発事業に伴い遺跡の内容確認（試掘）調査を実施した。（15件） <ul style="list-style-type: none"> ・調査の結果に合わせて、文化財の保護を講じるよう指導を行った。 ○ 国見展示館企画展等 <ul style="list-style-type: none"> ・「洞窟と考古学者」「旧石器時代の島原半島」「神代鍋島家に伝わる所蔵品展」「神代小路のお雛様展」 1,988人 ・夏休み講座 まが玉づくり 3地域 4回 44人 ・社会科見学 市内小中学校 6校 97人 ・国見展示館入館者数 R5実績2,393人 		
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県営基盤整備事業に伴う発掘調査については計画どおり進めることができた。今後も整備事業が計画されており、関係各所と連携し、埋蔵文化財の保護に取り組む必要がある。また、現地説明会を実施し調査成果を公表することができた。 ○ 発掘調査成果の企画展等計画し、今後も市内文化財の周知を図っていく必要がある。 ○ 企画展などを今後も充実させ、市民へ文化財の周知普及に取り組みたい。 		
自己 評価	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
以降の年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発に伴う発掘調査及び報告書作成、現地説明会等を行い、調査成果の活用を図る。 ○ 国見展示館等での企画展等を通して、調査成果の周知と歴史学習に寄与する。 ○ 文化財保護啓発冊子の作成を行い、文化財保護に取り組む。 		

主要施策（２）－ ①		市民団体と連携した文化芸術活動の推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化会館自主事業において、参加者の増加を図ります。 ■ 自主事業数 (R1) 9回→(R7) 10回 ■ 自主事業参加者数 (R1) 2,891人→(R7) 3,000人 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自主事業数 7回 ■ 自主事業参加者数 2,354人 ○ 雲仙市文化会館自主文化事業振興会主催事業 市民のニーズにあった文化芸術鑑賞の機会を充実させるため、雲仙市文化会館自主文化事業振興会による自主文化事業を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・懐かしい日本の歌コンサート 7月30日(日)(吾妻町ふるさと会館) 来場者242人 ・中本マリジャズライブ 8月6日(日)(国見町文化会館) 来場者166人 ・宝くじ文化公演 北島兄弟コンサート 8月19日(土)(ハマユリックスホール) 来場者657人 ・おどる♪ハロウィンパーティー 10月22日(日)(吾妻町ふるさと会館) 来場者594人 ・長崎県警察音楽隊ふれあいコンサート 12月16日(土)(愛の夢未来センター) 来場者366人 ・日本の芸能～鼓舞～ 1月14日(日)(ハマユリックスホール) 来場者165人 ・長崎県オペラ協会公演 3月10日(日)(吾妻町ふるさと会館) 来場者164人 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題解決につながる文化事業や組織の在り方について検討していきたい。 ○ 自主文化事業開催補助金が削減されており、限られた予算の中でさらなる事業効果を高める必要がある。(R1:6,224千円→R5:5,244千円) 		
評価自己	C	A:計画を上回って進捗 B:計画どおり進捗 C:一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D:計画に全体的な遅れがある E:計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組以	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民のニーズを反映した自主文化事業を開催する。 ○ 自主文化事業振興会の自立した組織のあり方を検討する。 		

重点目標4 運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進
します。

点検評価シート

担当課 スポーツ振興課

主要施策(1) - ①		運動・スポーツの日常化の推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション協会、総合型地域スポーツクラブの加盟団体及び会員数を増やし、市民の軽スポーツ人口の拡大のための支援を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション協会加盟団体 (R2) 5団体→(R7) 6団体 ■ 総合型地域スポーツクラブの会員数 (R2) 176人→(R7) 200人 雲仙市スポーツ協会等と連携してスポーツ教室を開催し、市民及びスポーツが苦手な小学生に対し、スポーツに親しむ機会を拡大させます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ団体が主催する教室 (R2) 2教室→(R7) 3教室 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション協会加盟団体 4団体 ■ 総合型地域スポーツクラブの会員数 148人 ■ スポーツ団体が主催する教室 3教室 <ul style="list-style-type: none"> ○ 軽スポーツ団体の支援 雲仙市レクリエーション協会及びがまだすスポーツクラブにおける活動の充実や組織の拡充を図るため、それぞれの団体に対して支援等を行った。 【雲仙市レクリエーション協会】・構成団体数：4団体 構成人数：137人 【がまだすスポーツクラブ】 ・種目数：4種目 会員数：148人 ○ スポーツ教室等の実施 運動機会の提供・紹介のための軽スポーツ等の教室を実施した。 ・ヘルスアップスクール (延べ参加人数：133人) ・水泳教室 (延べ参加人数：81人) ・柔道教室 (延べ参加人数：68人) ○ 体力測定会の実施 自分の体力年齢などを知る機会として、体力測定会を実施した。 (参加人数：29人) ○ 市民ラジオ体操会の実施 市内7会場(7町)一斉にラジオ体操会を実施した。(参加人数：574人) ○ 市民運動会の実施 市民の一体感の醸成と親睦融和を目的に第7回市民運動会を実施した。 (参加人数：約3,100人) 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽スポーツ団体の支援については、団体数や会員数の減少など課題はあるものの、それぞれの団体において意欲的に活動に取り組んでいる。 ○ スポーツ教室等については、ヘルスアップスクール、水泳教室、柔道教室を開催し、市民がスポーツに親しむ機会の提供ができた。 ○ 4年ぶりに市民運動会を開催し、多くの市民の参加を得ることができた。 		
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い年代を対象にした各種大会や教室等の開催に向けた取組を行う。 ○ ラジオ体操の推進について、引き続き市民ラジオ体操会を開催し、各種大会や企業などにおいてラジオ体操を取り入れてもらうよう推進を図る。 ○ 令和7年度開催の第8回市民運動会(合併20周年記念事業)に向け、関係機関等と連携し、早い段階から検討を進めていく。 		

主要施策（１）－ ②		スポーツ競技力向上とジュニアスポーツの推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会と連携し市民の競技力向上と競技人口の拡大を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ協会加盟団体数（R2）19団体→（R7）21団体 ■ 小学生クラブ活動振興会加盟団体数（R2）51団体→（R7）54団体 ・ジュニアスポーツの推進については、健康な身体づくりを推進しながら、練習時間及び休養日の設定を遵守させ、過重な指導の防止を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 少年スポーツの現状に合った講習会の開催（R2）1回→（R7）1回 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ協会加盟団体数 18団体 ■ 小学生クラブ活動振興会加盟団体数 50団体 ■ 少年スポーツの現状に合った講習会の開催 1回 <p>○ スポーツ協会の運営支援 市民スポーツ大会をはじめとする市民の各種競技会の開催、競技力向上や競技人口の拡大のための講習会や教室を行う雲仙市スポーツ協会の活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会加盟団体 18 競技団体（1,413人） 補助金 16,223千円 ・市民スポーツ大会開催支援 18 競技（1,284人） 補助金 1,352千円 ・R5.11 県民体育大会出場に係る経費の一部を助成 18 競技 446人 <p>○ 補助金等による経済的支援 優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し経費の一部を助成し、負担の軽減と意識の高揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会出場激励費の交付 件数：217件 激励費：8,104千円 <p>○ 振興会等団体に対する活動・運営支援 少年期における健康な身体づくりと、将来のスポーツ活動への意欲を育むため、小学生クラブ活動振興会に対し、運営経費の一部を助成して、その活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体数：50クラブ 構成部員数：600人 補助金 2,144千円 		
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ協会の運営支援については、各種事業を計画どおりに開催することができた。 ○ 補助金等による経済的支援については、全国大会等への出場団体が多く、スポーツ大会出場激励費の交付件数や交付額が大幅に増加した。 ○ 振興会等団体に対する活動・運営支援については、各団体に対して運営のための経費の一部を助成することにより活動の支援を行った。 		
評価 自己	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組 次年度以	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ協会の運営支援を行うとともに、各競技団体が行う大会及び教室開催等の活動を支援し、スポーツ人口の増加を図る。 ○ 競技力の向上及び優秀選手の育成のため、ジュニアスポーツの推進とスポーツ協会各競技団体等の競技力向上に向け、引き続き補助金等による経済的支援を行うとともに、指導者向けの講習会などを開催する。 		

主要施策（２）－ ①		社会体育施設の整備と民間活力の導入	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設（設備・備品）の適正な管理運営については、定期的に安全点検を実施し、必要があれば交換、修繕等を迅速に行い使用者が快適に利用できる環境を確保します。 ■ 定期的な点検（R2）不定期→（R7）6回／年（1回／2ヶ月） ・適切な利用のための予約制度システムを導入します。 ■ 予約制度システム（R2）未導入→（R7）導入完了 ・指定管理制度による民間活力の導入に向けて調査・研究を進めます。 ■ 指定管理施設（R2）2施設→（R7）3施設 		
5年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的な点検 6回／年 ■ 予約制度システム 導入完了 ■ 指定管理施設 2施設 <p>○ 社会体育施設（設備・備品）の点検等 定期的に社会体育施設の点検等を行い、修繕等が必要な箇所について早期の対応を行った。</p> <p>○ 予約制度システムの導入 令和5年度に社会体育施設等の新たなウェブ予約システムを導入した。</p> <p>○ 指定管理者制度による民間活力の導入 指定管理者制度による民間企業のノウハウ等を導入した施設の運営に努めた。</p> <p>【国見総合運動公園（遊学の里くにみ）】 指定管理者：株式会社 NSP 指定管理契約期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間） 指定管理料：33,700千円（年額）</p> <p>【リフレッシュセンターおばま】 指定管理者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社九州・沖縄支店 指定管理契約期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間） 指定管理料：26,100千円（年額）</p>		
評価検証 及び課題	<p>○ 社会体育施設の老朽化に伴う施設の破損や機器類の故障等への対応として、定期的な点検や見回りを強化し、早期の改修に努め、利用者への影響を最小限に留めた。</p> <p>○ 「国見総合運動公園（遊学の里くにみ）」及び「リフレッシュセンターおばま」については、令和5年度から新たな指定管理者となったことから、毎月1回程度の連絡調整会議を開催し、情報の共有を図りながら適正な施設の運営やサービスの向上に努めた。</p>		
自己 評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
以降の 年度 取組	<p>○ 市内社会体育施設について老朽化が進んでいるため、公共施設等総合管理計画に基づき施設の統廃合や民間活力の導入等に向けた検討を行う。</p> <p>○ 国見総合運動公園（遊学の里くにみ）及びリフレッシュセンターおばまについて、指定管理者と連携を図りながら、安定した施設運営を行う。</p>		

主要施策（２）－ ②		地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の誘致に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ合宿の誘致（Ｒ２）０団体→（Ｒ７）年間２団体 ・平日のスポーツ大会の誘致に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 平日のスポーツ大会の誘致（Ｒ２）０大会→（Ｒ７）年間２大会 ・スポーツ大会並びに障害者スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致及び平日のスポーツ大会の誘致を行いながら、観光関係団体等と連携を図り、市民が「支える」スポーツ環境を整備します。 		
５年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ合宿の誘致 ２団体 ■ 平日のスポーツ大会の誘致 ０大会 <p>○ スポーツ合宿、大会等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの所管課である観光物産課と連携を図りながら合宿及び大会等の誘致に取り組み、合宿については、Vリーグ女子の「久光スプリングス」とバドミントンの強豪校である「瓊浦高校バドミントン部」の誘致に繋げることができた。大会等の誘致については、日本スポーツマスターズ2024長崎大会のバレーボール男子や令和7年度九州ブロック国体ボクシング競技、卓球Tリーグ女子の誘致に繋げることができた。 令和5年度の主な大会として、令和4年4月に市と協定を締結した九州大学バスケットボール連盟の年3回の大会を始め、ポッチャの大会や卓球、バレーボール、県高校総体の空手道競技などを開催することができた。 また、継続的な誘致を目指し次年度に向け積極的な誘致活動を行った。 <p>○ 平日のスポーツ大会の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日のスポーツ大会の誘致に努めたが、大会の誘致まで繋げることができなかった。 <p>○ 観光関係団体等と連携を図り、市民が「支える」スポーツ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学バスケットボール連盟の大会について、大会の回数を重ねるにつれ旅館やホテルなどの宿泊事業者側とチーム側の関わりもできており、地域としても大学生が試合で活動していることへの認知が高まっている。 		
評価課題	<p>○ 小浜体育館の供用開始から継続的な誘致活動を行い、合宿や大会等の誘致に繋げることができた。平日の大会誘致はできなかったが、障がい者スポーツであるポッチャの大会を誘致することができた。</p> <p>○ スポーツツーリズムの推進にかかる機運の醸成を図るため、観光関係団体やスポーツ関係団体等との連携強化が必要である。</p>		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<p>○ これまで誘致したスポーツ大会等の継続的な開催を始め、新たな大会等の誘致に向けた取り組みを更に加速させるため、観光関係団体やスポーツ関係団体等との連携強化に努める。</p> <p>○ 市内社会体育施設を有効に活用し、スポーツ大会のみならず、各種大会やイベント等の誘致にも積極的に取り組む。</p>		

7. 学識経験者の所見

(1) 点検・評価に対する総評

令和5年度に国の第4期教育振興基本計画が策定され、令和6年度には長崎県の第4期教育振興基本計画が策定された。本市においては、令和3年度（～7年度）に策定された第2期教育振興基本計画の3年目である。

本年度も、「雲仙市教育大綱」の4項目の実現に向け、重点目標と22項目の主要施策において、「取組状況」と「評価検証及び課題」が具体的数値を示しながら整理されるなど、的確な点検・評価がなされている。過去2年間の評価や方向性を踏まえた取組がなされた結果として、主要施策の自己評価においてAランクの「大幅な増加」とD・Eランク「0」となった結果を高く評価したい。

毎月1回の定例会や臨時会において、多くの議案と報告事項についての審議が行われ、緊急な課題への適切な対応がなされている。年2回の総合教育会議においては、「次期教育大綱の策定について」の協議も行われ、計画的な取組によりウェルビーイング※1を実感できる人づくりやふるさとづくりが今後さらに進むことが期待できる。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが令和5年5月8日から「5類」に移行したことに伴い、教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問やその他の活動の完全実施が可能となった。雲仙市図書館の視察も含め、現場の具体的な課題や支援策等について活発な意見交換や指導がなされていることに敬意を表したい。

本市の第2期教育振興基本計画も残り2年間となる。今後の取組を確実に実施し成果を上げていくには、国や県の教育振興基本計画を参酌しながらの修正やこれまでの取組の評価・検証が重要である。学校現場や市民の意見・要望等も効果的に取り入れた取組の推進により、本市教育がさらに充実発展していくことを期待しているところである。

【用語の説明】

※1 ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

(2) 「重点目標」に係る主要施策ごとの評価

重点目標 1「子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。」 について

主要施策 1

県及び市独自の学力調査を軸としたマネジメントサイクルの充実と市研究指定事業や計画的な学校訪問による児童生徒の実態に応じた継続的な指導により、教育活動の充実が図られていることがうかがえる。まず、県学力調査において小学校で国語が4ポイント、算数が2ポイント、中学校でも数学が県平均を上回っている。県平均を下回っている教科については、当該年度の学年の特質等様々な要因等もあるかと思われる。今後も継続した指導をお願いしたい。次に、小学校における英語学習については、肯定的回答の割合が91.5%と大きく伸びている。教員の指導力向上のための研修の充実やICT活用を推進するためのハードウェアの充実等、様々な取組の成果であると考えられる。さらに、タブレット端末の活用については、授業と家庭学習の「つなぎ」としての活用実践例の発信や管理職研修・研究発表の指導助言等、機会をとらえた継続的な指導により、タブレット端末を用いた在宅学習の回数が大きく伸びたことを高く評価したい。今後もタブレット端末の活用や在宅学習については、個人差を考慮し、すべての子どもが実践できる取組や実践例の積極的な発信を期待するところである。

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠である。コミュニティ・スクール導入が、年次計画に基づき着実に推進されていることは大いに評価できる。コミュニティ・スクールの成果が出るまでには、ある程度の取組期間を要すると思われる。新たな導入校や導入予定校においては、学校との連携を密にし、細かな成果の共有や学校の負担軽減のための工夫、教職員の意識改革への指導や連携をなお一層推進していただきたい。

教職員の働き方改革について、統合型校務支援システムでの効率的な教育活動の推進により、時間外勤務の縮減が図られていると評価できる。教師のウェルビーイングの確保のためには、教師自身が指導に自信を持ち、子どもの成長を実感する機会を得ることが重要であると考えられる。明るい職場環境や保護者との信頼関係等も必要である。教職員がこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう継続的な指導・支援をお願いしたい。

主要施策 2

「安全安心な学校」は、教育を進める上での大前提となるものである。建

築から40年を超える学校施設が多いことから、屋上防水工事や外壁工事、トイレの洋式化等が年次計画にそって確実に取り組まれてきたことは大いに評価できる。改修・整備事業には多くの予算が必要である。今後も国庫補助の活用など、財源の確保をもとに学校施設の長寿命化計画に基づいた計画的な改修に努めていただきたい。

国の第4期教育振興基本計画には「……教育の分野においてICTを活用することが特別なことではなく『日常化』するなど、デジタル化を更に推進していくことが不可欠である。」と示されている。本市においては、インターネットを使って情報を活用することができる児童生徒の割合が小学5年生～中学3年生で85.0%と高い。時代に即した情報教育環境の整備を主要施策の一つとし、電子黒板やインターネット環境などハード面の環境改善が着実になされてきた結果によるものと高く評価できる。また、学習者用ポータルサイトの充実、指導力向上を図るための研修の充実により、ICTを活用し指導できる教職員も増え、ICT機器を用いた授業の充実が図られていると考える。今後も学校現場の声を生かした取組の継続をお願いしたい。

主要施策3

不登校の要因は勉強や友達のこと、生活リズムの乱れ、身体の不調等多岐にわたると考えられる。支援の在り方としては「直接会って話す」が相談しやすい方法という調査結果もある。不登校児童生徒一人一人の状況に応じた漏れのない支援に向け、訪問指導員による訪問指導や個別指導が支援要請に100%対応という形で行われていることを高く評価したい。一方、支援要請への対応数やケース会議・ケア会議の回数が昨年度より増加傾向にあること、不登校児童生徒数の減少が見られないことは懸念材料である。不登校における初期段階からの早期支援の必要性を考えると、年度当初における「児童生徒サポートセンター事業」説明や各種研修会での事業説明は大変重要である。学校や保護者との連携による初期対応の充実により、不登校児童生徒への支援の充実が一層図られることを期待している。

いじめの早期発見・早期対応によるいじめの深刻化防止に向け、毎学期末の「いじめの認知件数に関する調査」や「雲仙市いじめ防止アンケート」の実施がなされ、認知から3か月経過後の解消率が99.1%と高いことを評価したい。解消には至っていない事例が2件あるが、今後も学校と連携し早期解消を目指していただきたい。

就学支援事業では、申請後の速やかな個別認定により、事務処理期間の短縮に努められ改善が図られている。保護者の困窮状況対応においては、支援事業の周知徹底と親身な対応が求められる。広報や各種機関との連携による

周知とともに、申請忘れの保護者を出さないための学校との連携等、周知徹底に向けた取組の継続を引き続きお願いしたい。

重点目標2「生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。」について

主要施策1

雲仙市においても、少子高齢化や核家族化が確実に進んでいる。そのような中、「地域住民の主体的な学びの機会」の提供に向けた取組が確実に成され成果を上げている。全195講座、幼児・親子～高齢者と幅の広い講座が企画実施され、講座満足度99%につながっていることを高く評価したい。「ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進」に向け、今後も講座の評価検証をもとに、地域住民が主体的に学ぼうとする機会の提供をお願いしたい。

図書システムの更新により、スマートフォンでの利用者カードの使用や館内検索システムでの資料予約が可能となり利便性が向上している。加えて読書推進イベントの開催や図書ボランティア団体等との連携による取組など、地域ぐるみで読書活動が推進されている。これら市民のニーズに応じた図書館・図書室運営の充実は高く評価できる。インターネット利用になれていない市民が気軽に活用できるよう、環境の整備や積極的な普及活動を継続していただきたい。施設・資料の充実や図書館サービスの向上が、図書館・図書室の有効利用につながっていくものと考えている。

各町文化協会及び自主文化事業振興会への適切な支援により、「市民芸術祭」等、市民主体の文化活動が数多く開催されている。これらの活動は、市民の生涯学習における自主性や協調性、協働性を育む機会であり大変有意義であったと考える。自主文化事業のさらなる自立や発展に向け、会員相互の交流活性化や人材発掘、研修等支援の継続を引き続きお願いしたい。

主要施策2

テレビやインターネット等の影響もあり、無責任な放任や過保護・過干渉など家庭の教育力の低下が指摘されている。そのような中、平成29年度に作成された「雲仙市家庭教育7か条」のクリアファイル配布や「ココロねっこ運動」「家庭の日」の広報紙・公民館だよりへの掲載による周知が、家庭や地域の教育力を高め、青少年の健全育成の推進につながっていると評価したい。インターネットは、その利便性から様々な恩恵を与えてくれるが、健康被害や有害サイトによる危険性もはらんでいる。正しい情報モラルやマナーを十分に理解することを目的としたメディア安全指導が、「PTAとの協働による市統一ルールリーフレットの配布」「新入学保護者説明会時のメディア安

全講話」や「P T A対象のメディア安全講演会」等、学校やP T Aと連携し継続的に推進されていることは高く評価できる。日々変化するメディア環境に対応するには、メディア機器への係わりに関する実態調査は有効である。結果の分析と課題解決に向けた取組により、メディア機器の安全な使用がさらに進むことを期待している。

多くの市内小学校と連携し実施されている人権講演会「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」は、講話・演奏・ワークショップ等内容の工夫もあり、障がいのある人への偏見や差別に対する人権意識の啓発につながっていると大いに評価したい。人権をめぐる状況の深刻化やメディアでの差別的情報の発信等もあり、依然として様々な人権課題が存在している。人権講演会や市民講座を活用した人権意識の啓発は大変重要である。今後も内容・方法ともに工夫を凝らした啓発活動が、効果的に展開されることを期待している。

主要施策 3

公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づいて、社会教育施設の改修工事等が計画的に実施されている。また、これまでの Wi-Fi 環境の整備が、社会教育施設におけるリモート学習などの学習環境の充実やインターネット等の活用による研修会等の充実につながっていると考える。施設の老朽化が進み課題も多い中、次年度以降の施設整備の計画も立てられており、中長期的な視点に立った計画的な整備の推進が期待できる。

重点目標 3「歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。」について

主要施策 1

郷土の歴史・文化の継承に向けた支援により、各保存会・市内小中学校と連携したハタ揚げや考古学講座が開催され、世代を超えたつながりや郷土への愛着心の育成へと発展していることは大きな成果である。本市においても、過疎化や高齢化の進行により後継者不足という課題も生じていると思われる。継承や普及のための記録作成や伝承者と支援者の確保をお願いしたい。

地元団体や観光物産課と連携した多様なイベントが開催され、地域活性化が図られていると評価する。今後もこれまでの実績をもとにしたイベントの工夫や鍋島邸を中心としたまちなみの魅力の情報発信に努めていただきたい。

国見展示館における埋蔵文化財企画展等の工夫により、入館者が大幅に増加し市内文化財の周知につながっていることは賞賛に値するものである。

主要施策 2

市内文化館自主事業において、文化芸術鑑賞の機会充実のため多くの自主文化事業が開催され、参加者数も2,000名を超えている。文化芸術が人に感動や喜び楽しさをもたらし、人生を豊かにすることを考えるととても意義深い。市内4か所の会場が使用され、機会の充実につながっていると思うが、会場地区以外からの来場・参加者への交通面の配慮等も引き続きお願いしたい。次年度以降の取組に、自立した組織の在り方を検討すると記載されているように、市内における多様な文化芸術活動の担い手の育成や組織の在り方が検討され、地域の活性化へとつながっていくことを期待している。

重点目標4「運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。」について

主要施策 1

スポーツ教室等の開催や軽スポーツ団体への支援により運動やスポーツに親しむ機会の提供がなされ、運動・スポーツの日常化が推進されていることは大変意義深いと考える。市内においても高齢化が進んでいることや交通が便利になったこと等により、体を動かす機会の減少が懸念されている。スポーツイベント・スポーツ施設活用の情報や観光分野と連携したスポーツツーリズムに関する情報等の発信に引き続きご尽力いただきたい。

ジュニアスポーツの推進に向けて、スポーツ協会への運営支援や振興会等団体への活動・運営支援、補助金等による経済的支援が滞りなく行われている。また、少年期における健康な体と心作りが大切であるといわれる中、指導者への指導が組織・学校等と連携しながら確実に実施されていることを高く評価したい。指導者向けの講習会においては、指導内容・方法や児童生徒の意識・行動の変化等評価に基づいた内容の工夫も一層必要かと考える。

主要施策 2

社会体育施設における早期修繕や改修が、使用者の快適な利用につながっていると評価できる。指定管理施設においては、新たな指定管理者との連携により民間活力の積極的な活用が図られ、適正な施設の運営やサービスの向上へと発展していくことを期待したい。

小浜体育館を拠点的な施設とし、スポーツ合宿や新たなスポーツ大会の誘致がなされ、本市におけるスポーツツーリズムの推進につながっていることは大変評価される場所である。今後も地域の魅力の発信や大会の誘致へのPR配信とともに、観光関係団体との連携・調整によるニーズへの迅速な対応により、スポーツツーリズムの推進が一層図られるものと期待している。

「第2期雲仙市教育振興基本計画」の基本方針に基づく3年目の取組において、PDCAサイクルによる点検・評価が適切になされ、目標達成に向け真摯に取り組まれてきた雲仙市教育委員会に敬意を表する次第です。

雲仙市教育委員会のなお一層の発展を祈念し、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書（令和5年度事業分）」に対する私の所見の報告といたします。

令和6年7月8日

岩 永 敏 幸

雲仙市教育委員会

〒854-0492

長崎県雲仙市千々石町戊582番地

TEL 0957-37-3113

FAX 0957-37-3112